

安全・安心な救急活動の継続のために



▲ 6月12日、消防本部に最新の「高規格救急車」を導入しました。

消防本部では、新型コロナウイルス感染症の感染対策のため、救急活動時には手袋や感染防止衣、ゴーグルを着用しています。

今回導入した救急車は、運転室と患者室の間に隔壁（写真左）を設けており、これにより運転手がゴーグルを装着して運転する必要がなくなるため、安全な走行につながります。

また、傷病者を覆うことができる「アイソレーター（写真右）」やオゾン消毒器の設置による救急車両内の除染など、隊員の感染対策を徹底し、安全・安心な救急活動の継続に努めます。

アイガモたちが米作りのお手伝い



▲ 5月26日、上殿さん（JA兵庫六甲猪名川アイガモ部会会長）のもとに88羽のアイガモがやってきました。

成長したアイガモたちは6月中旬から7月末頃まで田んぼに放鳥されると、稲につく害虫や水中の雑草を食べ、農薬に頼らないお米作りのために活躍してくれます。

アイガモ米は9月中旬頃から、道の駅いながわや猪名川営農支援センターなどで販売予定です。ぜひ食べてみてください。



猪名川を彩るホタル



30秒露光の写真4枚を比較明合成



10秒露光の写真140枚を比較明合成

ふおと にゅ〜す



8秒露光の写真79枚を比較明合成

▲ 5月下旬～6月上旬にかけて、町内各地の夜を「ホタル」の美しい光が彩りました。きれいな水が流れる川辺などを好んで生息するといわれるホタルは、豊かな自然環境が残る猪名川町ならではの梅雨の風物詩。これからも一人ひとりが環境保全を心がけ、ホタルの生息地を後世に残していきましょう！

中学生が描く

「水の大切さ」

◀ 6月1～7日、町役場で町内中学生による「節水」や「環境保全」をテーマにしたポスターの展示を行いました。

この取り組みは、毎年の水道週間にあわせて行っているものです。中学生が心を込めて描いた作品は、改めて私たちに「水の大切さ」を考えるきっかけを与えてくれました。

